

聴覚に障害のある高齢者が安心・安全に生活する住まい環境の整備 / 北海道札幌市

聴覚障害者対応のサービス付き高齢者向け住宅の建設

- 近隣住民とも密接に関われるよう地域行事へも参加し、障害にこだわらない自然な環境づくり
- 非常時を含めた聴覚障害者に対する情報伝達を確実にできるよう、音+光+振動による情報伝達設備の整備
- 介護の専門的知識に加え、手話奉仕員養成の入門課程を修了したスタッフによるサービス提供

事業概要

提案者：公益社団法人
札幌聴覚障害者協会
総事業費：1.98億円(国費：0.25億円)
補助事業：○1棟20戸 新築
・サービス付き高齢者向け住宅
○小規模多機能型居宅介護事業所 新築

地域連携

施設スペースを活用した学習会等の開催により、近隣住民の方々との共通の時間を設け、相互理解に努めている。

民生委員の方々と手話体験 ▶

入居者・手話通訳者も加わり、防災について共に学んだ町内会の役員・班長研修会を開催 ▼



言語・コミュニケーション保障

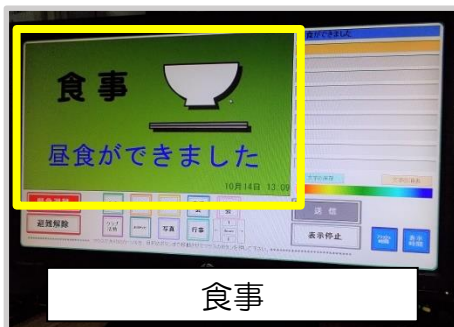


▲盲ろうの方と口腔体操

共通言語を『手話』としつつ、盲ろうの方や手話が不得手な聞こえない方、一人ひとりに合った方法で意思疎通をはかっている。

情報伝達設備

- ・居室等には光や絵・文字で知らせるモニター等を設置
- ・火災報知機と連動したベッドシェーカーを各居室に設置



聞こえない人が便利 は みんなが便利
手話が通じる 誰とでも話せる地域づくり
それは 人にやさしい地域づくり

